



発達障害への理解を

◆発達障害とは？

発達障害のある人は、人との関わりあいやコミュニケーションが苦手であるため、時に、周囲の人と共感的な関係を築くことができず、「自分勝手」、「困った人」と誤解されることも少なくありません。多くは、乳幼児期で症状があらわれますが、日々の仕事や生活で、忘れ物やミスが多い、上司や同僚、お客さんとのコミュニケーションがうまくいかない、時間の管理が苦手などの理由でトラブルに悩むことではじめて気づく人も増えてきています。

発達障害の主な特徴

○自閉症

言葉の発達の遅れ、対人関係やコミュニケーションの障害、興味や行動に対するこだわりが強いといった特徴があります。

○アスペルガー症候群

対人関係、社会性の障害、パターン化した行動やこだわりが強いという特徴は自閉症と共通していますが、言葉の発達の遅れは伴いません。

○学習障害

全般的な知的発達に遅れはありませんが、読む、書く、計算するなどの特定の能力を学んだり、行ったりすることに著しい困難があります。

○注意欠陥多動性障害

不注意もしくは、年齢や発達レベルに見合わない多動性（じつとしていられない）や衝動性（考えるよりも先に動く）などの特徴があります。

◆理解とサポートを

発達障害は一見しては分かりにくく、家族に認知されていないケースもあります。ただし、本人や周囲が早めに特性を理解し適切に対応することにより、二次的な

それぞれの障害の特性

障害（不登校、ひきこもり、うつ、非行等）の発生を防ぎ、学校や職場等の社会生活における適応力が向上し、さらにはその人の能力を十分に発揮することも可能になります。

知的な遅れを伴うこともあります

自閉症

- 言葉の発達の遅れ
- コミュニケーションの障害
- 対人関係・社会性の障害
- パターン化した行動、こだわり

広汎性発達障害

注意欠陥多動性障害 (AD/HD)

- 不注意
- 多動、多弁
- 衝動的に行動する

アスペルガー症候群

学習障害 (LD)

- 「読む」、「書く」、「計算する」等の能力が、全体的な知的発達に比べて極端に苦手

- 基本的に、言葉の発達の遅れはない
- コミュニケーションの障害
- 対人関係・社会性の障害
- パターン化した行動、興味・関心のかたより
- 不器用（言語発達に比べて）

○相談はこちらへ
市では、発達障害のある人の相談窓口を設けています。気になることなどご相談ください。
問い合わせ
障害者・障害児相談支援事業所
地域支援センター まいらいふ
(中央二丁目10-32)
☎ 24-6556

厚生労働省リーフレット「発達障害の理解のために」より